

令和元年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	有機で創る元気な里づくり事業 ～スーパーぼかしを使った野菜作り～
事業主体 (連絡先)	生坂村 (0263-69-3112)
事業区分	(6) オ地域の特色、個性を活かした産業振興、雇用拡大に資する事業
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	2,589,946 円 (うち支援金：1,954,000 円)

事業内容

1. 生坂村独自の有機肥料 (Super ぼかしいくさか) を普及させるため、ぼかしを製造し農産物直売所にて配布した。
2. 農産物直売所において、有機肥料を使った農産物を普及するため、近隣では見られない特色ある野菜を栽培した。
3. 生坂村独自の有機肥料 (Super ぼかしいくさか) を使用したほ場と、作付している物や使っている肥料も異なるほ場で土壌検査を行い、それぞれにおける品質の違いを検証した。
4. 真空包装機と食品乾燥機を導入し、多くの農業者が使えるような体制を整え、農産物の出荷販売の促進を図った。



【土壌診断検証会】

事業効果

※地域活性化のための目標・ねらいに対してどのような効果があったか、項目毎に記載すること。

1. 生坂村独自の有機肥料を用い、一般的な野菜だけでなく特色ある作物を栽培することで、こだわりの生坂村ブランド野菜としての可能性が広がった。
2. 村内の農産物直売所にブランド野菜として陳列でき、有機肥料による栽培を普及させることができるほか、真空包装・食品乾燥により、恒常的な出荷を行うことが可能となった。
3. 村民に有機栽培による新たな栽培方法やイタリア野菜のような新野菜の栽培への意欲が高まった。
4. 有機肥料及びブランド野菜を特産化することで、農家の農業収入が増加し、時期を問わない出荷が出来るようになり、恒常的な収入となり経済的安定につなげることが可能となった。

【目標・ねらい】

- ①生坂村独自の有機肥料 (スーパーぼかし) を普及し、それを使い栽培したブランド野菜を作る。
- ②特徴ある作物を特産化し、農産物直売所「いくさかの郷」の目玉の一つとするなど、村の農業振興と活性化を行う。

今後の取り組み

※今後、事業効果をどうつなげていくか記載すること。

- ・開発した生坂村独自の有機肥料 (スーパーぼかし) の普及を推し進めるため、農産物直売所「いくさかの郷」にて、ぼかしを使って栽培した農産物の販売のみならず、ぼかしそのものの販売を行いPRする。
- ・導入した機械を、多くの農業者に広く周知し、利用及び出荷を促進する。

※自己評価【B】

【理由】

村独自の有機肥料による栽培を普及させることができた。
また、真空包装機と食品乾燥機を導入し、多くの農業者が使えるような体制を整え、農産物の出荷販売を促進した。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。

「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた

「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある